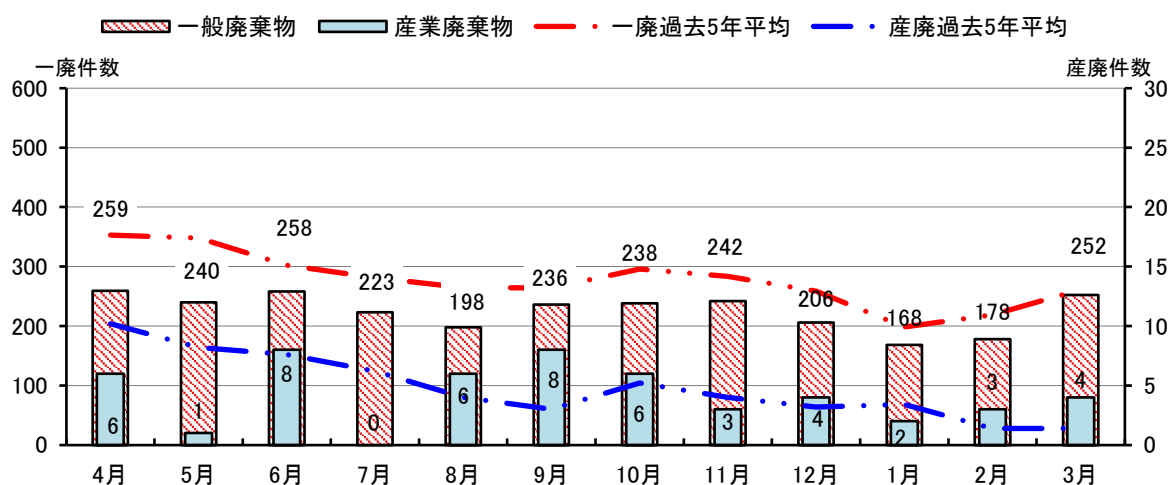


令和2年度における不法投棄の発見状況

令和2年度における不法投棄の発見状況は以下のとおりです。

1 月別不法投棄発見件数

●不法投棄の発見は春と秋が多く、雪に覆われて見通しが利かない冬に少なくなります。

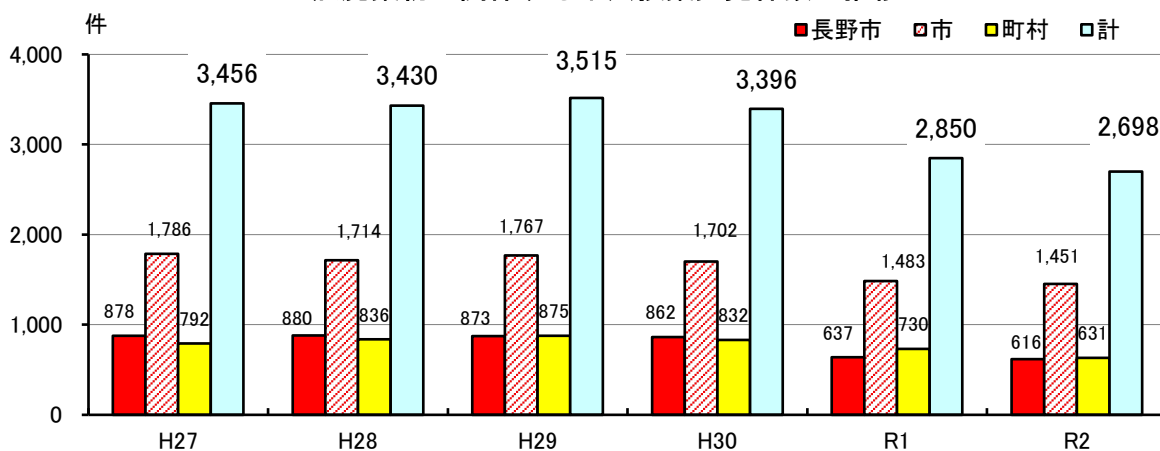


2 平成27年度からの不法投棄発見件数の推移

●不法投棄の発見件数は、年間3,500件前後で推移していましたが、令和元年度からは3,000件を下回るようになりました。

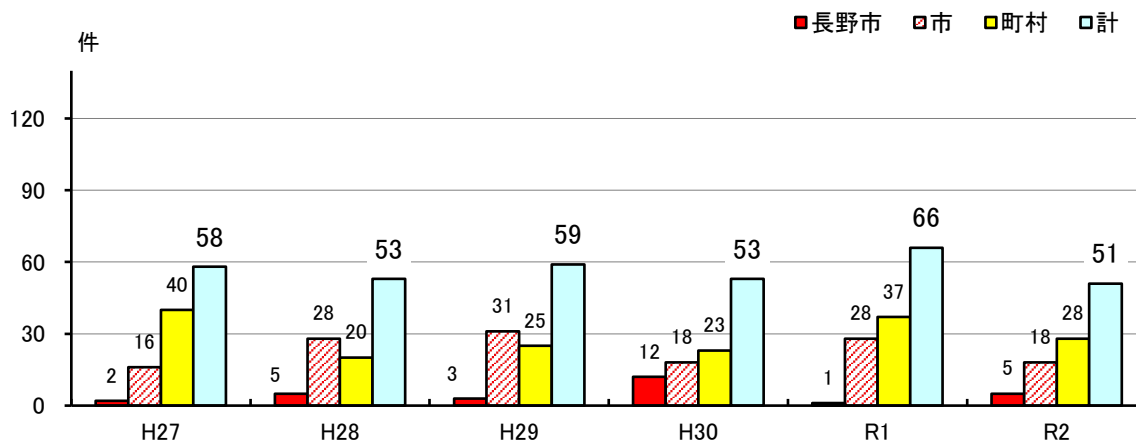
・一般廃棄物の不法投棄発見件数も、昨年から減少に転じています。

一般廃棄物に関する不法投棄発見件数の推移

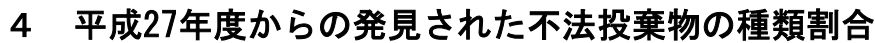


・産業廃棄物の不法投棄発見件数については、毎年60件前後で推移しています。

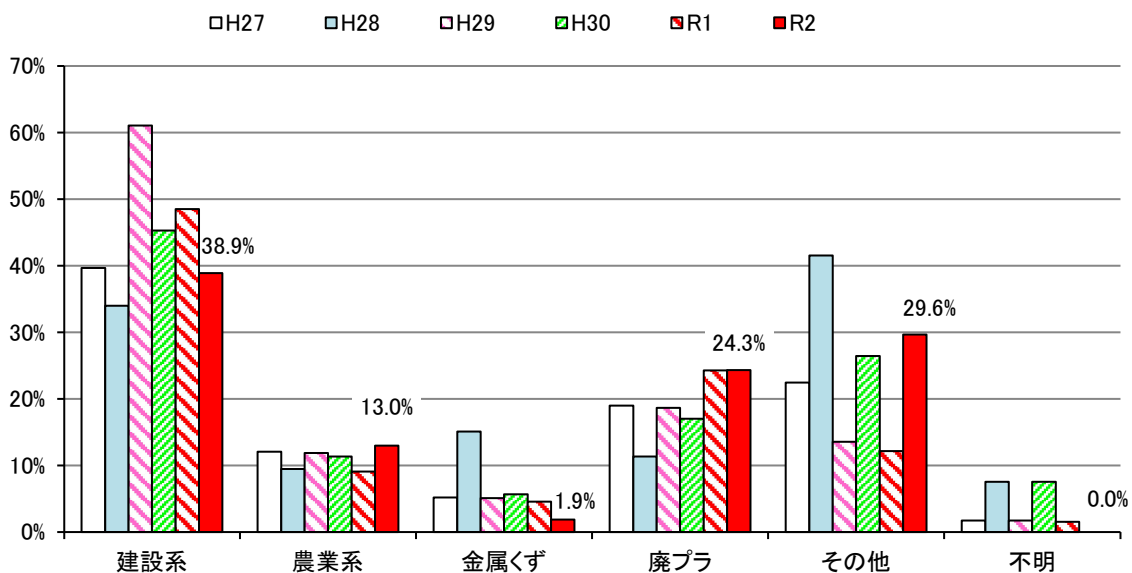
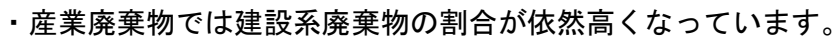
産業廃棄物に関する不法投棄発見件数の推移



●不法投棄の発見は、５年平均で長野市が最も多く、続いて上田地域振興局、松本地域振興局の順になります。

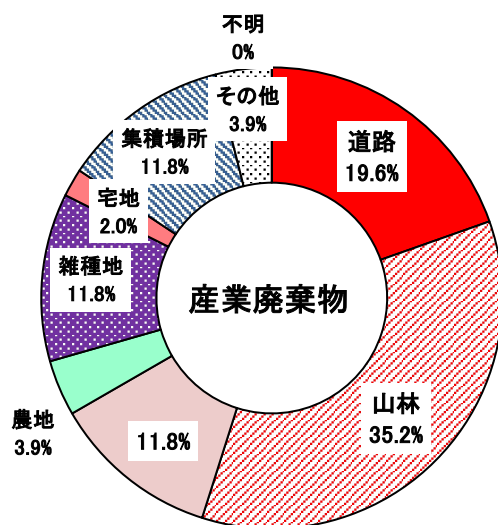
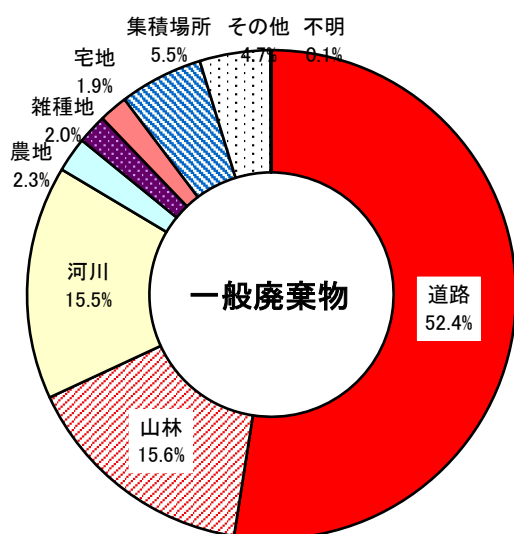


- ・一般廃棄物では家庭ごみが6割弱を占めています。



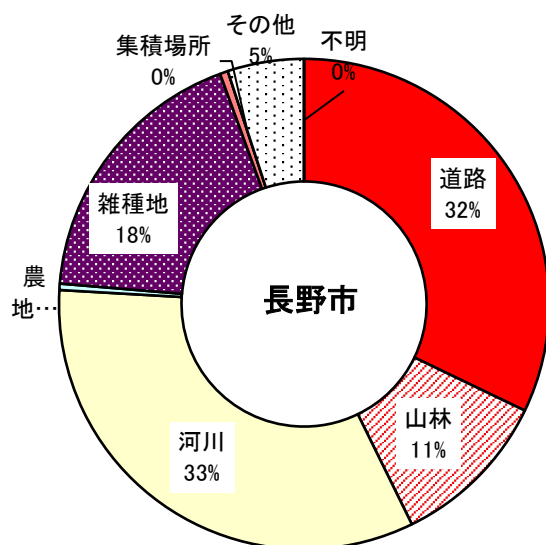
5 不法投棄物の発見場所構成比

●不法投棄は、道路、山林、河川などで多く行われています。



(参考) 不法投棄物の長野市・市・町・村別発見場所構成比

平成27～令和元年度の平均



令和2年度の状況

